

NEWS

水戸医療センター広報誌

vol.105

2026.1

特集

医療連携交流会を開催
いばらきまつり



茨城県立歴史館ライトアップ風景

診療科紹介

神経内科とは、どんな科ですか？
神経内科医長 田代 裕一

Doctor's Interview

輸血室医長（血液内科）
堤 育代

- 地域の医療機関のご紹介
- 診療科各科担当一覧表



独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター

TEL 029-240-7711

FAX 029-240-7788

〒311-3193 東茨城郡茨城町桜の郷280番地

<https://mito.hosp.go.jp/>



医療連携交流会を開催

経営企画室長（地域医療連携センター長補佐） 白潟 慎一

11月15日（水）、医療連携交流会を開催いたしました。

今回も地域の先生方をはじめ多くの関係者の皆さまにお集まりいただき、医療連携強化を目的として、直接顔を合わせたコミュニケーションを行いました。

患者さんのために円滑で質の高い医療連携を行うには、日頃から顔の見える関係を築くことが重要であり、そのような場は大変貴重であると感じております。

また、今回は医療機関に加え、地域の介護老人保健施設や特別養護老人ホームの職員の皆さまにもご参加いただきました。



高齢化など時代の変化に対応し、必要な患者さんに適切な医療を提供するため、今後も体制の整備を進めるとともに、地域とのつながりをより一層強化してまいります。



いばらきまつり

看護部 青山 晶子

令和7年11月2日（日）好天の中、いばらきまつり2025に参加してきました。看護師、放射線科、検査科、臨床工学室、リハビリスタッフが健康相談、身体測定、血圧測定、握力測定、血管年齢、乳がん自己チェックを行いました。各ブース延べ866名の方に来ていただきました。「なかなか測定する機会がないので、測りたい、知りたい。」「普段、できな

い相談をすることができた。」など、みなさん興味をもち、来られていました。地元の病院として、地域住民の方々に健康に関心を持っていただけたと思います。我々スタッフも、地域住民の方とふれ合う機会となり、楽しい時間となりました。ご来場くださいましたみなさん、ありがとうございました。



Doctor's Interview

輸血室医長
血液内科医師
堤 育代

日本血液学会 血液専門医・指導医
日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医
社会医学系専門医
社会健康医学博士（京都大）



Q1

先生の得意とする疾患を教えてください。

堤Dr： 血液内科領域について、悪性、良性にかかわらず幅広く診療しております。血液悪性腫瘍の治療は化学療法となります。急性白血病の化学療法は入院で行うレジメンが多いですが、悪性リンパ腫や多発性骨髄腫などの悪性腫瘍の化学療法は、多くの場合、初回コースの治療導入を入院で行い、以降は外来化学療法室で行っています。

骨髄異形成症候群は、高齢者に多く、汎血球減少で見つかることの多い疾患です。進行すると白血病や骨髄不全に移行しますが、1年以内に白血化する人から10年以上進行がゆっくりな人まで、病勢に幅があります。白血病への移行リスクが高いタイプでは化学療法や造血幹細胞移植が選択されますが、これらの治療が適応にならない低リスク患者やフレイル患者の場合は輸血やエリスロポエチン、ルスパテルセプトなどの保存的治療が選択されます。悪性腫瘍以外の疾患として、特発性血小板減少性紫斑病や再生不良性貧血、溶血性貧血の方も数多く通院されています。

骨髄異形成症候群は造血不全の進行に伴い、定期輸血が必要になる方が多く、当科では外来ので赤血球および血小板の輸血を行っております。赤血球輸血の場合はクロスマットが必要となるため、輸血管理室での輸血の準備のために、お時間をいただいております。また、特に血小板輸血や新鮮凍結血漿の輸血の場合には、発熱や蕁麻疹など輸血によるアレルギー症状が出ることがあります。以前の輸血でこのような症状があった方は、ヒドロコルチゾンや抗ヒスタミン薬を事前投与してから輸血を行っております。

Q2

紹介して頂く際にこんな症状が出たらすぐ紹介してくださいなど、紹介時の着眼点などはありますか？

堤Dr： 感染や薬剤性の可能性が考えにくいにも関わらず、急激に血球数が減少または増加した場合は、本人の自覚症状の有無にかかわらず受診を勧めていただけましたら幸いです。

リンパ節腫脹の鑑別も現場では難しいことが多いですが、経時的に明らかに増大してきている場合や、本人の全身状態の悪化を伴う時などは、ためらわずご相談を頂ければ幸いです。

貧血のご紹介の場合は、前もって黒色便や下血の有無の情報が有ると、非常に助かります。

以前より、ご紹介患者様から、診察や検査、処置の待ち時間が長いとご注意をいただいております。できるだけ早めの診療を心がけておりますが、急変、急患の状況や検査科、処置室の混雑状況により、長時間お待たせしてしまうことがあることをご了承いただけましたら幸いです。

Q3

症状が落ち付いて、開業医の先生方にご紹介する際に気を付けていること等ありますか？

堤Dr： 当院での治療経過や、紹介後に気を付けなければならないことを転医前によく本人、ご家族に説明して、転医後にトラブルが起こらないように気を付けています。

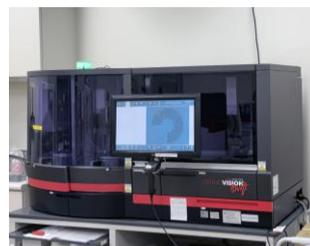
採血によるフォローをお願いする場合には、有事の際の当科への再紹介の目安となる血球数をお示しするように心がけております。判断に迷うケースが生じた場合はご一報いただけましたら幸いです。

Q4

ご紹介して欲しい症例などありますか？

堤Dr： 血液内科領域が疑われる事例であれば、いつでもご相談いただけましたら幸いです。血液領域は日単位、週単位で急変する疾患も多く、全身状態が悪化してしまうと治療選択肢が狭まってしまうので、判断に迷った場合には状態が悪化まで待たずにまずはご一報いただけましたら幸いです。

インタビューは以上になります。ありがとうございました。



神経内科とは、 どんな科ですか？

神経内科医長 田代 裕一



神経内科とは

神経内科は脳・脊髄・末梢神経・筋肉といった神経系全体の病気を内科的に診断・治療する診療科です。神経や筋は全身隅々に分布していますので症状は様々ですが、体が上手く動かせなくなった、体の感覚が変になった、あるいは物事を考えたり覚えたりすることが苦手になった場合、神経内科の病気を考えてみるようになります。検査の結果、他科特に整形外科、脳神経外科などでの治療が望ましい疾患(脊椎症、脳腫瘍など)であることが判明した場合は当該科への紹介を行うことになります。一方、神経内科と間違えられやすいのが精神科/精神神経科、心療内科です。両科とも、うつ、不眠、心身症など精神的な問題を扱う科で当科とは異なります。

神経内科が扱う主な症状・疾患

具体的な症状としては、頭痛、めまい、しびれ、ふるえ、麻痺、力が入らない、歩きにくい、ふらつき、けいれん、むせ、呂律が回らない、物が二重に見える、もの忘れ、意識障害などがあります。これらの症状が全て神経内科疾患とは限りませんが、これらの症状を引き起こす神経内科的な疾患の例としては、

脳卒中、認知症（アルツハイマー病、レビー小体型認知症など）、神経難病（パーキンソン病およびその類縁疾患・筋萎縮性側索硬化症（ALS）・多発性硬化症・視神経脊髄炎など）、末梢神経障害（ギラン・バレー症候群など）、筋疾患（筋ジストロフィー、筋炎など）、神経筋接合部疾患(重症筋無力症など)、慢性頭痛（片頭痛、

緊張型頭痛、群発頭痛など）、てんかん（けいれん）などがあります。これらの神経内科疾患の診断には画像診断（MRI・SPECT検査）で有力な情報が得られることも多いのですが、それだけでは診断に至らないことも多数あり、問診・神経診察・電気生理検査・髄液検査などを駆使して診断していくこととなります。

当院神経内科について

当科では常勤医師3名および非常勤医師1名で上記疾患のほぼ全ての診断・治療を行っております（ただし、脳卒中については当院では主に脳神経外科が担当しています）。神経難病など経過が長い疾患が多数あり、10年以上に渡る経過を問診でお聞きすることもあります。神経診察と合わせて、患者さんお一人について（特に初診時には）長時間の診察となり、そのため待ち時間も相当な長さになっています。待ち時間を少しでも緩和するため当科専任の医師事務補助と協働して予約を行っております。緊急性のある場合を除き、かかりつけ医からのご紹介と地域連携室でのご予約をして頂くことを強くお勧め致します。近年保険適応となったアルツハイマー病に対しての抗アミロイドβ抗体薬治療は茨城県北部では数少ない初期導入施設となっており、認知症認定看護師の協力も得て診療をしております。認知症あるいは軽度認知障害の場合はご家族などご本人以外からの情報提供が極めて重要な意味を持ちますので一緒に受診をお願いしております。

以上、簡単ですが当科の紹介となります。よろしくご依頼申し上げます。

臨床研修医(2年目) 陳 施航

このたび、水戸医療センターに初期研修医として着任いたしました。地域医療の中核を担う当院で研修できることを大変光栄に思っております。日々の診療を通じて多くを学び、患者さんに寄り添った医療を実践できるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



水戸地区における薬薬連携の取り組みと研修会の実施

薬剤部 小島 卓也

2025年12月3日、当院主催により、水戸地区がん領域薬剤師会（Pharmacist Oncology Club in Mito：PLUM）による研修会を開催いたしました。本会は、水戸地域に所在する病院および保険薬局の薬剤師が協働し、地域全体におけるがん薬物療法の質向上を目的として発足した組織です。医療機関と保険薬局が垣根なく連携することで、患者さんに対する継続的かつ安全な薬物療法の提供を目指し、研修会や情報共有の場を継続的に設けております。本研修会は今回で第7回目の開催となります。

当日の研修会では、「大腸がん患者に対する化学療法」をテーマに、治療レジメンの基礎から薬学的



介入の実際、ならびに保険薬局におけるフォローアップの重要性について講演を実施しました。副作用マネジメントや服薬アドヒアランスの向上、多職種連携の在り方についても具体的な事例を交えながら共有し、日常業務に直結する実践的な内容となりました。

当日は水戸市内外から48名の薬剤師が参加し、活発な質疑応答および意見交換を通じて、地域における薬薬連携の重要性を改めて認識する貴重な機会となりました。今後も本会の活動を通じて、地域医療の質向上に貢献してまいります。



がん放射線療法看護について

がん放射線療法看護認定看護師 羽根田 祥子

放射線治療は、手術、薬物療法と並ぶがんの3大治療法の1つです。手術と同様、患部の局所に対する治療ですが、手術のように臓器を取り除いたりせずに治療をします。侵襲が少ないことや、骨転移などによる痛みなどの症状緩和にも適応があることから、対象は仕事をしながら通院で治療を行う方から、終末期の患者まで多岐に渡ります。治療期間も長期に及ぶことから、患者の個別性を踏まえた上での支援が治療完遂という目標を達成する上でとても重要になってきます。

具体的には、まず放射線療法の治療計画について線量分布図を確認し、急性有害事象の予測を行います。線量分布図とは、放射線治療計画装置という専用のコンピュータの計算によって患者の体内のどの位置のどの範囲に、どのくらい放射線が照射される

かという放射線治療計画が示された図のことです。たとえば、中咽頭がんの患者では他の頭頸部疾患患者に比べ、照射野に舌が含まれることから味覚障害がみられるようになります。放射線治療を受ける患者には、予測される急性有害事象について事前に放射線治療室でオリエンテーションが行われますが、それに加えてどの症状がいつまで続くのか、いつ頃回復するのかといった説明をそれぞれの患者に行っています。

さらに、放射線治療では「再現性」も重要となってきます。同一体位の確保だけでなく、食事時間や排泄時間などを考慮して臓器の位置の再現性も確保する必要があり、患者が積極的に治療に参加しセルフケアを行うことが治療効果・副作用にも影響します。また、先に述べたような味覚障害のある患者では、治療計画CT時の体型に変化がなるべく見られないように栄養面でも介入が必要となってきます。他にも、疾患に応じて様々な有害事象へのケア介入が必要となることがありますが、個人的に意識して取り組んでいることは「患者指導」ではなく、「患者支援」を。治療を行う患者と共に考え、寄り添う看護を今後も提供していきたいと思います。





当院との医療連携登録医療機関

地域の医療機関のご紹介



院長 金敷 博文

院長挨拶

私は平成13年に当医院を開業するまで、卒業校である自治医科大学の建学の精神に基づき、茨城県医官として無医村や過疎地等にて勤務してきました。

自治医科大学医学部の使命は、「医療の谷間に灯をともし」ことです。

医療にめぐまれない地域で進んで医療に挺身してきた経験をいかし、地域のみなさまの健康を支える「かかりつけ医」となれるよう、スタッフ一同励んでまいります。



アクセス
(公式ホームページ)

【診療科目】

内科 消化器科
循環器科 呼吸器科
小児科 皮膚科
禁煙外来

[住所] 水戸市平須町

1-27

[電話] 029-305-7211



当院紹介

水戸医療センターの東南1・5kmに位置し、最も近い診療所の1つです。かかりつけ医としての役割を果たしたいと思っています。

皮膚科・小児科についても御相談ください。

必要により、専門医に紹介しています。

- ◀学会認定資格▶
- 日本内科学会総合内科専門医
 - 日本医師会認定産業医
 - 麻酔科標榜医
 - ケアマネージャー

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
AM 8:30~12:30	○	○	○	休	○	○	休
PM 3:00~6:00	○	○	○	休	○	○	休

※受付時間 午前7:30 午後2:30より受付を開始します。

ふたば内科クリニック

院長 市田 崇

院長挨拶

医療法人ふたば内科クリニック院長に就任しました、市田 崇と申します。1997年12月に初代院長 荒木 誠 医師が水戸市双葉台の地に当クリニックを開設され、地域の方に厚いご支援を頂く、かかりつけクリニックとなっております。2024年6月継承させて頂くこととなりました。

私は2005年に茨城県に赴任して以来、約16年間茨城県内の医療機関に勤務して参りました。検診や日常外来から、癌診療、救急医療まで様々な分野に従事して参りました。

地域のかかりつけ医としての役割を継承しつつ、専門であ



アクセス
(公式ホームページ)

【診療科目】

内科
消化器内科

[住所] 水戸市双葉台

4-173-5

[電話] 029-257-1728



る消化器内科診療、特に内視鏡検査に力を入れて行きたい所存であります。

微力ではありますが、地域医療に貢献できるよう精一杯努めて参ります。引き続きご支援、ご指導のほど頂ければ幸いです。

当院の設備

- ・経鼻・経口内視鏡検査 (食道、胃・十二指腸)
- ・大腸内視鏡検査
- ・CRシステム (画像のデジタル化)
- ・単純X線検査
- ・心電図検査
- ・超音波検査 (腹部)
- ・骨密度検査
- ・自動血球計数CRP測定装置

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
AM 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	休
PM 2:30~6:00	○	○	○	休	○	休	休

※受付時間 午前 11:30まで 午後 5:30まで



診療科各科担当一覧表

2026年1月1日～

2026年1月24日 作成

診療科	曜日	月	火	水	木	金	備考
循環器内科		*宇佐美 安部	*鈴木 横須賀 伊藤 小泉(午後)	*安部 小泉	*田畑 木全	*木全 田畑 宇佐美	毎週月曜日13:00よりペースメーカー外来 (予約制) 新患は紹介状持参のみ 火曜の鈴木は奇数週のみ、火曜の横須賀は 偶数週のみ
呼吸器内科		山崎(健) *山岸	遠藤 *太田	沼田 *岡田	遠藤 *沼田 山岸	山崎(勇) 太田	金曜日は再診のみ 第1、3、5月曜日新患：山岸 第2、4月曜日新患：山崎
消化器内科		*伊藤 *小野田	石田(予約) *下山田 *大曾根	山口(予約) 伊藤(予約) 秋山 (予約・隔週)	伊藤(予約)	石田(予約) *下山田 *安部	完全予約制 検診結果要精査持参の場合は月・火・金曜 日で新患対応可 予約のない紹介状持参の場合は受診不可
血液内科		交代医	*米野 吉田(近)	*橋川 米野	*堤 *吉田(近)	*法岡 加村(午前) 堤(午後) 交代医	火～金は新患対応可能 交代医は予約患者のみ
神経内科		田代 法岡	井岡	田代(予約) 相澤	田代 法岡	田代 相澤	火曜日は再診のみ 水曜日の田代は完全予約制
精神科		志賀 非常勤①	志賀		志賀 非常勤②	非常勤③	完全予約制 再診のみ
小児科		全 面 休 診					
消化器外科		武藤 宮澤	加藤(丈) 福永	加藤(丈) 田部田(午前) 非常勤	福富 小林	米山 山本 福永(午前)	
乳腺外科		森 濱岡		森 植木(予約) 濱岡	橋本(予約)	森 濱岡(午後)	水曜日の植木は予約のみ 第1、3、5水曜日：濱岡 第2、4水曜日：植木 木曜日の橋本は午前中(予約のみ) 金曜日の森は第3金曜日は午前・予約のみ
臓器移植外科		全 面 休 診					
呼吸器外科			稲毛(予約)	中岡		中村(亮)	
心臓血管外科		佐久間		相馬		佐久間 相馬	血管疾患外来は毎週水曜日
整形外科		江藤 小林	小川 森田(午後) 加藤 江藤(予約)	小川(午後) 大山(午前) 上原	能見 伊藤 小方 中山	小川(予約)	完全予約制(火曜日は脊椎、金曜日は手・ 肘・肩の完全予約制) 木曜日の小方は奇数週のみ
形成外科			佐々木 櫻井(優) 井出	松本 佐々木(予約)	佐々木 井出 櫻井(優)	交代制	水曜日の佐々木は乳房再建外来(予約制、 午後) 水曜日の松本は診察時間 14:00～15:00
リハビリ テーション科		小川	江藤	上原	江藤	小川	外来患者は直接行いません (整形外科に通院中の患者のみ) 入院患者の受付は毎日行います
脳神経外科		佐藤 交代制	中村(和) 交代制	加藤(徳) 阿久津 安田		加藤(徳) 根岸	安田は月1回第1水曜日に診察(脊髄疾患中 心)

診療科	曜日	月	火	水	木	金	備考
皮膚科		岩田 (午前)	岩田 (午前)	岩田 (午前)	岩田 (午前)	岩田 (午前)	初診は予約のみ
泌尿器科		飯沼 市村 保田 青山	市村		飯沼 市村 保田 青山	飯沼 保田 青山	金曜日の青山は奇数週のみ診察 金曜日の保田は偶数週のみ診察
婦人科		全 面 休 診					
産科		全 面 休 診					
眼科		平塚 稲福	平塚 稲福	平塚 稲福	平塚 稲福	平塚 稲福	
耳鼻咽喉科		瀬成田 吉村	瀬成田 吉村	瀬成田 松永		吉村 松永	水曜日の午後は腫瘍外来のみ(予約制)
麻酔科		全 面 休 診					
歯科口腔外科		交代医	薬師寺(孝) 福本 高野	薬師寺(孝) 福本 高野	薬師寺(孝) 福本 高野	交代医	外来新患は火・木のみ(地域医療連携室利用不可) 入院新患者は月・金のみ 周術期外来は月・金で予約制
放射線治療科		大川	大川 鈴木(午前)	大川 櫻井(英)(午後) 原田(午後)	大川	大川 大西(午前)	初・再診ともに完全予約制
代謝内科			高橋				入院患者のみ 受診の際は診察日前に連絡要 当日の受付 9:00まで
腎臓内科						白井	新患不可・紹介患者不可
緩和ケア内科					小林		新患不可・紹介患者不可

注 * は新来患者を診察する医師

注 (予約) は再診の予約患者のみの診察

※ 診療日時については、変更となる場合がありますので、予めご承知ください。

※ 当院は全科予約制となっておりますが緊急患者・他院からの紹介患者が優先になりますのでご了承ください。

受付時間	8:30~11:00 再来受付機 7:30~11:00 〈予約の方は予約時間まで〉
診療時間	9:00~



〒311-3193 東茨城郡茨城町桜の郷280
国立病院機構 水戸医療センター
TEL. 029-240-7711 (代表)





年の始まりにぼんやりと

院長 米野 琢哉

今年の年始は、久しぶりにゆっくりとテレビを見る時間が取れた。何気なく眺めていたサスペンスドラマに、小学生が誘拐され、犯人の隙を突いて山小屋から逃げ出す場面があった。必死に山道を下るが、靴を履いていなかったために足の裏を痛め、途中で動けなくなってしまう。そのシーンを見て、ふとどうでもいい疑問が浮かんだ。「人間は、いつから靴を履くようになったのだろうか?」。早速AIで調べてみると、ヒトが完全な二足歩行になったのは約150~200万年前。一方、靴を履いていたと思われる痕跡は7万~15万年前のアフリカの遺跡で見つかり、靴そのものはアメリカの洞窟で発見された約1万年前の履物が最古とされている。ヒトの歴史からみると靴の登場は比較的最近の出来事ようだ。

現代でも、日常生活を裸足で送る民族は存在する。彼らは靴を知らないのではなく、知ったうえで履かないことを選んでいる。靴を使うか使わないかは、状況や目的に応じた選択の問題ということだ。

医療に目をむけると、検査や薬剤はどれも優れた発

明だが、使えば使うほど良いとは限らない。必要なときに、必要な分だけ、正しい選択をしてこそ意味がある。本来は「行きたい場所」があって、そのための靴(道具)を選ぶはずなのに、いつの間にか道具を使う、検査する、投薬すること自体が目的になってしまうことはないだろうか。そんなことをぼんやりと考えた年の始まりでした。



(写真 みちひらきの神様 猿田彦神社のお守り)

募集

非常勤事務助手 (医師事務作業補助者)

事務業務から、医療に関わる。
貴方の能力を当院で発揮しませんか?

【職種】 非常勤事務助手

【期間】 採用日~年度末原則として年度更新を予定

【場所】 水戸医療センター

【業務】 書類作成、患者説明業務、データ入力、電子カルテ代行入力など

【資格】 簡単なExcel・Word (ワープロ入力は必須)

【時間】 8時30分(固定)~17時15分の間で6時間程度、週32時間、休憩30分~60分(規程に従う)勤務週5日

【休日】 土・日・祝、年末年始

【給与】 経験者(試用期間あり)

① 時間給 1,260円 (外来業務経験有かつ有資格者)

※ 試用期間中は時間給 1,110円

② 時間給 1,210円 (外来業務経験有または有資格者)

※ 試用期間中は時間給 1,110円

未経験者(試用期間なし)

時間給 1,110円 ※ 経験、資格等に応じて昇給あり

【待遇】 賞与年2回(74,400円/前年度実績)、交通費規定内支給、社会保険完備、制服貸与、育児介護休業取得実績あり、マイカー通勤可(駐車場あり)

応募方法

① 履歴書(様式自由) ※ 写真を必ず添付すること

② 職務経歴書(任意)

を当院採用担当宛郵送してください。書類選考通過者のみ今後の選考について連絡いたします。

連絡先

〒311-3193 東茨城郡茨城町桜の郷280番
水戸医療センター 採用担当宛

TEL: 029-240-7711

※ その他職種についても募集あり! 詳細は当院HPをご確認ください。